



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第104号
平成28年12月号

『みんなの発表で輝かせよう 最高の笑顔！』

11月12日(土)。晴天のもと「第9回杭州日本人学校学習発表会」が在上海日本国総領事館青山領事部長、蕭山日商クラブ片谷会長、本校田川運営委員長、河村PTA会長をご来賓にお迎えして盛大に開催されました。スローガンは「みんなの発表で輝かせよう 最高の笑顔」。開会行事に続き、体育館には力強い和太鼓が響きわたり、中学部7名による和太鼓演奏「石風車」からプログラムが始まりました。特に、おはやしのリズムを入れた難しい横打ちに挑戦する姿が感動的でした。続いて、3・4年生による方言民話「はんぴ話」は、宮崎県につたわるとんち話を方言を駆使して、3つの話を軽妙に演じてくれました。標準語と違う発音が印象に残りました。とんち話は、当時の農民たちの反骨精神がうまく表現できていました。衣装にも工夫されていました。1・2年生は、今年のパン作り



の農民たちの反骨精神がうまく表現できていました。衣装にも工夫されていました。1・2年生は、今年のパン作り

な性格や感情を表す意味があることを私たち大人も学ぶことができました。5・6年生の劇「地球に生まれた地球っ子」は、地球温暖化で苦しむシロクマの様子や砂漠化、食糧不足、水不足など様々な課題を抱え、地球を救う方法を身近な問題から解決する劇でした。7年生の「職業調べ学習」は、世の中の仕事についてクイズを取り入れみんなで楽しく考える発表でした。特に、NHK番組「ピタゴラスイッチ」風にコミカルな実験やダンスを取り入れて、場内にも笑い拍手があふれていました。



休憩をはさんで、小学部器楽合奏「夢をかなえてドラえもん」は、ポケットからすてきな道具が出てきて、かわいいダンスとすばらしい演奏が響きわたりました。最後の全校合唱「ふるさと四季」では、杭州っ子たちが四季折々の歌をメドレーで歌い始めると、まるで「ふるさと日本」にいるようなあったかい気持ちになりました。保護者の皆様、最後までご鑑賞いただきありがとうございました。